

令和 7 年度 大阪市立木津中学校 卒業式 式辞

春の光がやわらかく校庭を包み、木々の芽吹きが新しい季節の訪れを告げています。本日ここに、大阪市立木津中学校 第 70 回卒業式を挙行できますことを、大きな喜びとともに深く感謝申し上げます。

ご来賓の皆さまにおかれましては、ご多忙の中ご臨席賜り、誠にありがとうございます。日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご支援をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。地域の皆さまの見守りがあってこそ、生徒たちは安心して学び、挑戦し、成長することができました。高いところからではございますが、本当にありがとうございます。

また、保護者の皆さま、本日はお子さまのご卒業、誠におめでとうございます。義務教育 9 年間を終えるにあたり、お子さまの晴れ姿を見られて、感慨もひとしおのことと思います。あわせて、3年間、中学校へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。お子さまの成長を支え、励まし続けてこられた保護者のみなさまがあってこそ、本日の卒業式であると思っています。

さて、卒業生の皆さん。卒業おめでとうございます。

皆さんの学年は、入学当初 38 人でスタートしました。その後、新たに仲間が加わり、本日の卒業式を迎える時点では 50 人となりました。その中には、外国から日本にやってきて、慣れない日本での生活や日本語の学習を続けながら学校生活を送ってきた仲間も多くいます。言葉や文化の違いを乗り越え、互いに支え合いながら成長してきた皆さんの姿は、本校の誇りです。そして、そうした仲間を自然に受け入れ、共に学び、共に笑い合ってきた皆さんの優しさこそ、この木津中学校の大きな強みであり、宝物です。

3年間の中学校生活を振り返ると、さまざまな思いが胸に浮かぶことでしょう。新しい環境に緊張しながら始まった一年生の春。仲間とともに学び、時に悩み、時に笑い合いながら過ごした日々。特に学校行事では、みなで力を合わせ、互いを支え合いながら見事に成功させ、レベルアップをさせてきた姿を、私は誇りに思います。

中でも、皆さんが3年生で訪れた沖縄への修学旅行は、忘れられない経験となったはずです。ひめゆりの塔で見た少女たちの記録、ガマの暗闇の中で感じた命の重さ。そこには、戦争が人々の尊厳を奪い、人生を引き裂く「最大の人権侵害」であるという厳しい現実が刻まれていることを実感し、平和について考えるととてもいい機会となりました。さらに、その経

験をふまえて、文化祭では、みなさんの思いを「アルバムと沖縄戦 ～あの日あの場所で～」という劇で、見事に表現し、見ている人に大きな感動を与えてくれました。

そんな皆さんの多くは、「東日本大震災」が起きた年度に生まれました。奇しくも、一昨日の 3 月 11 日で、震災から 15 年という大きな節目を迎えました。皆さんが生まれたその年、日本は深い悲しみと困難に直面しました。しかし同時に、人々が助け合い、支え合い、立ち上がる姿もまた、私たちの記憶に強く刻まれています。

戦争も、災害も、そして昨今の国際情勢が示すように、世界は予測不可能な出来事に満ちています。だからこそ、皆さんには「不確実な時代をどう生きるか」という問いが、これまで以上に突きつけられています。

その答えのヒントは、皆さん自身の歩みにあります。

言葉や文化の違いを越えて仲間を受け入れた優しさ。

沖縄で学んだ命の尊さ。

震災の記憶から受け継いだ助け合いの心。

これらは、どんな時代にも揺るがない、皆さんの強さです。

これから皆さんは、それぞれの道へと進んでいきます。進む道は違っても、皆さんに大切にしてほしいことが3つあります。

一つ目は、自分で考え、選び、行動する力です。

正解が一つとは限らない時代だからこそ、自分の頭で考え、自分の言葉で語り、自分の足で一步を踏み出すことが大切です。

二つ目は、他者を尊重し、協力する姿勢です。

皆さんが育ててきた「違いを受け入れる優しさ」は、これからの社会でますます求められる力です。

三つ目は、自分自身を大切にすることです。

困ったときには助けを求めてください。自分を大切にできる人こそ、他者を大切にできる人です。

ここで、在校生の皆さんにも伝えたいことがあります。今日、皆さんの先輩がこの学び舎を築立っていきます。先輩たちが築いてきた伝統や思いを受け継ぎ、皆さん自身の力で木津中学校をさらによりよい学校にしていきましょう。卒業生のみなさんも応援してあげてください。

いよいよお別れの時間となりました。最後に、RADWIMPS の「正解」という歌のおわりの歌詞を紹介します。

『制限時間はあなたのこれからの人生
解答用紙はあなたのこれからの人生
答え合わせの時には私はもういない
だから 採点基準はあなたのこれからの人生
よーい はじめ』

これは、皆さん一人ひとりに向けた、力強いエールです。

誰かが決めた正解ではなく、皆さんが選び取った道こそが、皆さん自身の“正解”になっていく。迷いながらも、自分の選んだ道を信じて進んでください。

卒業生の皆さん。今日という日は、ゴールではなく、新たなスタートです。皆さんの未来が、希望と喜びに満ちたものであることを心から願い、式辞といたします。

令和 8 年 3 月 13 日

大阪市立木津中学校

校長 田中 淳